

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	兵庫県立 和田山特別支援学校 職・氏名 教諭 長戸 ゆかり	研究チーム名 (障害者スポーツ推進チーム)
-----------------	----------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 (6)

(1)研究テーマ
生涯を通して豊かなスポーツライフを送るためには
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>1 運動会に向けて</p> <p>ここ何年かは、肢体不自由障害のある児童生徒の実態により、本校では運動会が行われていなかった。しかし、本年度、知肢併置になったことに伴い、運動会を行うことにした。</p> <p>演技種目の検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月4日(金)、6月25日(金)、8月4日(水)、8月26日(木) ・ 検討内容...児童生徒の実態を考慮しながら、肢体不自由のある生徒にとって参加しやすい演技種目、知的障害のある生徒にとって参加しやすい演技種目だけでなく、障害種に関係なく、参加が可能な演技種目も考えた。 <p>実践</p> <p>実践1) ダンス：軽快な曲によって個々からだを動かす。ダンスの中で、みんなが共通した動きをする部分を作ったことで、一体感を感じることもできた。</p> <p>実践2) 車椅子リレー：肢体不自由の生徒だけではなく、知的障害の生徒も車椅子を操作し、一緒に活動した。</p> <p>実践3) じゃんけんゲーム：ジャンケンの難しい生徒には、カードを用意するなどの手立てを行い、全校生でジャンケン大会を行った。</p> <p>成果と課題</p> <p>全校生が一緒になって活動し、一体感や達成感を味わうことができた。次年度も全校生で取り組み、協力して参加、活動ができる演技種目を検討していきたい。</p> <p>2 昼休みを充実したものにするために</p> <p>聞き取り調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期 7月上旬と11月中旬に主に高等部の生徒を対象に調査した。 ・ 調査事項 昼休みにどのようなスポーツを楽しんでいるのか。 やってみたいスポーツはどのようなものか。 ・ 調査結果 バレーボールや野球、フリスビーを友だちや先生と一緒に楽しんでいるということがわかった。

実践 野球に、より多くの児童生徒が参加するための工夫を行った。

工夫1)バットを上手に振ることができる児童生徒は、友だちもしくは教師が、ボールを投げる。投げられたボールをバットで打つことが難しい児童生徒は、バッティングティースタンドを用いる。

工夫2)ボールの飛んだ場所で得点を決めてゲームを行った。守備をしなくてもよいので、打撃に集中できたり、ルールが簡単になったりした。

成果と課題

ルールを工夫することで、より多くの生徒がいろいろなスポーツを楽しめる。集団でするスポーツは、ルールを守るということとともに、チームとして対戦相手やチームメイトを意識することでコミュニケーション能力も必要になる。スポーツ活動を通してよりよい人間関係、スポーツを楽しむという経験を今後も学校生活の中でさせ、卒業後もスポーツを楽しみたいという気持ちを育てていけるようにしたいと思う。